

## K-POP アイドルの人気度の比較 —デビュー方法による人気度の違い—

情 月原 陸斗  
指導教員 宋 財法

### 概要

本稿はオーディションや選抜などのデビュー方法によって K-POP アイドルグループの人気度にはどのような違いがあるのか。またどのような条件が人気度を上昇させるのかを明らかにしていく。本稿ではオーディション番組を通して、デビュー前からグループの認知度を高めることができる点と視聴者投票の導入により視聴者を巻き込んだという点から、公開オーディションデビューが最も人気度が高いデビュー方法であるという仮説を導出した。この仮説を検証するために、2015 年以降にデビューした K-POP アイドルグループの初動売上枚数と音源チャートの比較を記述統計と線形回帰分析で行なった。分析の結果、デビュー直後の人気度はオーディション番組を経てデビューしたカテゴリが優位となった。人気度に影響を与える要素は性別・国籍数・リリース年であることが明らかになった。しかし、部分的に統計的有意ではない結果が得られたため、人気度の要因となる変数がさらに隠れている可能性などが指摘された。

### 仮説

①公開オーディションデビューと②事務所選抜デビュー、③事務所オーディションデビューの 3 つのデビュー方法があるが、今回はオーディション番組などのメディア露出を通して、デビュー前に大衆に認知される機会が多いデビュー方法が有利であると考え、①=③>②の順に人気度があると考察する。

### 研究方法

本稿では 2015 年以降にデビューした 35 グループの音盤の初動売上枚数・デビュー音源のチャート侵入順位と最高順位・性別・人数・国籍数・リリース年を抽出し、記述統計と線形回帰分析を行なった。収集方法は「Namuwiki (나무위키)」よりデータ収集を行った。比較していくポイントとして、1 つ目は各デビュー方法におけるデビュー音盤の初動売上枚数の比較である。この値は、そのグループのパフォーマンスの実力がほとんど未知数の状態であるため実力要素が少なく、オーディション番組や事務所が生み出した話題性が注目度の大半を占めていると言えるだろう。そのため、イベントの話題性や事務所の活動がデビュー時の成績にどれだけ影響するか確認することができる。2 つ目は、デビュー音盤以降のリリースにおける初動売上枚数の推移を各デビュー方法の平均値で比較する。3 つ目はデビュー音源のチャート侵入順位と比較である。ここでもデビュー曲の音源チャートでの比較を行うため、グループの実力という要素よりデビュー前の注目度の影響を受けやすい順位である。そして最後に各変数が初動売上枚数に与える影響を線形回帰分析で見えていく。

## 研究結果

図 1：デビュー方法別デビュー音盤平均初動枚数

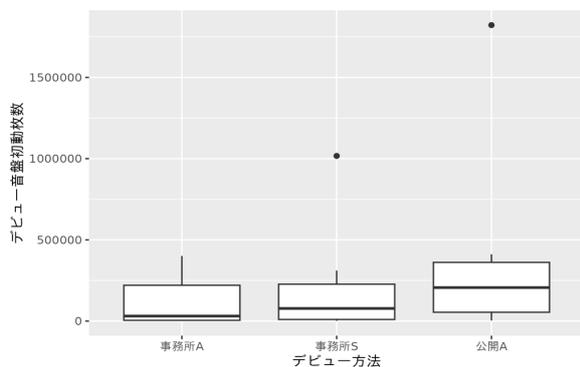
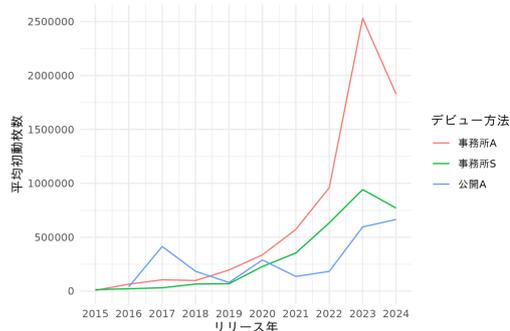


図 2：デビュー方法別リリース年ごとの平均初動売上枚数



記述統計では音盤と音源ともに公開オーディションデビューがデビュー直後の人気度には優位であるという結果であった。公開オーディションデビューという方法は、一般人のオーディション参加や投票における視聴者参加型などの新たなアイデアによって注目されたコンテンツであったことがわかる。視聴者を巻き込むという工夫により、デビュー前から多くのファンを獲得したため、デビュー音盤・音源における人気度は他のデビュー方法に比べて高いと言える。近年では図 2 のように、事務所からデビューするカテゴリの人気度も高かった。公開オーディション番組を経てデビューした場合、多くが活動期限を設けられるため、継続的な人気の維持は難しく、事務所からデビューした場合はグループが解散するまで活動が可能であるため、継続的に人気を維持するという面からは事務所カテゴリが優位である結果になった。デビュー音盤のみを対象とはしなかった推定結果においても、事務所オーディションデビューが最も多くの初動枚数を獲得するグループとなった。人気度に影響を与える要因としては性別・国籍数・リリース年が挙げられた。

本稿の研究で得られた知見としては、オーディション番組のように、デビュー以前から大衆の前でプロモーションを行う機会があることでデビューと同時に人気度を獲得することができ、デビュー直後の人気度には優位な結果が得られるという点である。デビューまでの助走として、様々な場面を、番組を通して視聴者に伝えることで、事前にファンを獲得することができ、イベント自体の成功にも直結していた。グループの人気度に影響する要因として挙げられた性別という要素も初動枚数の観点からは重要であった。日本の K-POP ファンが好きなアイドルの男女比というアンケート (Danmee 2023) においても男性アイドルが好きと答えたファンは 82%で女性アイドルが好きと答えたファンは 18%であった。このように K-POP 業界には男性アイドルを応援するファンの方が断然多く、したがって性別は初動枚数に大きな影響を与えることとなり、その他の業界にもこのような違いが見られるのではないだろうか。

## 参考文献

- Danmee. 『日本の K-POP ファンが好きなアイドルの男女比は「82%対 18%」 URL: <https://danmee.jp/knews/k-pop/oshikatsu-research/> (アクセス日: 2024 年 12 月 20 日)
- 「[SC 초점] '프로듀스 101' 시즌 1, 2 성공비결 '국프메이킹'에 있다」 朝鮮日報 (2017 年 6 月 16 日) URL: [https://www.chosun.com/site/data/html\\_dir/2017/06/17/2017061700745.html?outputType=amp](https://www.chosun.com/site/data/html_dir/2017/06/17/2017061700745.html?outputType=amp) (アクセス日: 2024 年 12 月 20 日)
- 森ゼミナール. 2021. 『20 歳女子大学生の K-POP 研究室 古家オッパの見た K-POP』